

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月24日（土）10時00分～12時00分
開催場所	波積地域コミュニティ交流センター
出席議員	森川佳英、山根兼三郎、鍛冶恵巳子、下谷忠広
参加市民数	8名
実施内容報告	議会報告
	意見交換 <p>意見交換①（地域医療）</p> <p>1. 救急医療体制の遅れと医師不足の共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田医療センターと済生会江津総合病院がしっかりとコミュニケーションをとってほしい。 ・地域医療では、かかりつけ医師がいなくなった場合の支えをどうするのか考えてほしい。 ・医師数は、そもそもどうして決まるのか、国の決定できるのか。教えてほしい。 ・浜田地域では医師数が増えており、江津地域は減少している原因、理由を教えてほしい。 ・江津、浜田、大田、邑智等のネットワークでつないで（救急車の中で）対応してほしい。 <p>2. 対話の場づくりについて</p> <p>3. 情報の見える化について</p> <p>4. 予防医療・対策について</p> <p>5. 医師定着への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修医など地域に医師を回す仕組みを作ってはどうか。 <p>6. 住民から出た主な提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院、手術、入院等をした患者さんの思いを聞き取って、知ってもらおう対策をしてほしい。 ・仮称「医療を守る会」など名称を広く募り、スピード感を持って進めてほしい。 ・公共交通と地域医療の連携、医療と介護の連携をお願いしたい。 ・江津市の未来について、子どもの頃から地元に住めるような教育をお願いしたい。 ・まずは、関心を持ってもらうことが大事ではないか。 <p>意見交換②（その他全般）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国人など交流人口の増加対策の強化をしてはどうか。 2. 図書館、歴史資料館の建設はよく考えてして頂きたい。 3. 空の家の紹介をもっと進めるべきではないか。 4. 防災集団移移転についての意見。
要望・意見等	（意見交換に含む）

その他 特記事項	なし
-------------	----

令和 7 年 5 月 27 日
江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月18日（日）10時00分～12時00分
開催場所	黒松地域コミュニティ交流センター
出席議員	森元 石橋 坂田 植田圭 多田 渡辺
参加市民数	12名
実施内容報告	議会報告（市議会だよりを配布） 地域医療対策特別委員会より
	意見交換 意見交換①（地域医療） ・ 済生会に対して良くない評判が多いと感じる。 ・ 実際には肯定的な意見もある。 ・ 済生会の情報、例えば何科の先生がいるかなど、がわからない。 ・ 研修医制度の変更により平成16年以降に医師が減った。 ・ 救急車が済生会に行かず、他の病院に搬送するのは、済生会が頼りにならないからではないか。⇒実際には受け入れ先の病院と症状による。 ・ 開業医が減っている。地域医療を守るためには開業医を確保していくことも必要ではないか。 ・ 待遇面と勤務条件により、新卒の医療従事者が県外の病院を就職先として選んでいる。採用等でも済生会の情報発信が必要。 ・ 済生会だけ医師が減っているのはなぜか。 ⇒近隣病院と比べても済生会だけ地元出身者が少ない。 ・ 医師と地域住民の交流の場を作る必要がある。 ・ 医療機関が住民に対して何をしてほしいかわからないから知りたい。医療関係者と地域住民の対話の場が必要。 ・ 済生会への市からの補助は足りているのかが心配。 意見交換②（その他全般） ・ 黒松地区内浜・川清掃に関するお願い。別途資料あり。
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他特記事項	なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月17日18：00～19：00
開催場所	都治地域コミュニティ交流センター
出席議員	藤間、河野、植田好、植田圭、多田、森川、坂田、渡辺
参加市民数	14名
実施内容報告	議会報告
	<p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ江津市に医師が来ないのか疑問。江津に来ると生活がしづらい、医療機器が不十分で技術が上がらない、本当にそうなのか。 ・魚釣りの話。九州に帰る医者が、温泉津温泉に気に入り、帰らずに済生会で勤務をしたという話も聞いた。→心が通うと医師が来る。 ・山脇に行くのに車ない人は、江津駅で降りて乗り換える。買い物ばかりでなく、通院問題。タクシー利用もあるが、お金がかかる。 ・詳しいデータはありがたい。 <p>地域医療の地域とは浜田圏域で考えるのか。急性期は医療センター、慢性期は済生会が県の医療政策なのか。救急患者は浜田医療センターでの受け入れ、済生会は診られない。地域医療とは江津の医療を守る、東部の医療を守る、東部は花田先生1人、桜江は応儀先生1人、10年後はどうなるか？ 東部と桜江をどうするのか… 分けて考えて、どうあるべきか考える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母が脳梗塞の時に、救急車で済生会に行き検査、浜田医療センターにドクヘリで行ったが、カテーテルが使用中と、医大に搬送。脳梗塞は時間、済生会で検査して、医療センターで対応できるか判断して医大に直ぐ回すとか対応が遅い。右半身がマヒ、脳にも記憶障害になった。江津市は、ドクターヘリを2回も使わないと治療受けられない実態。症状の情報共有の迅速性が問われている。 ・脳梗塞は一時を争う。倒れて時に脳梗塞だと救急車に症状を伝え、直ぐに医療センターに搬送され、翌日には会話が出来る状態。この時は済生会でドクターヘリが待っていた。 ・救急体制の連携プレーが大切。救急車に乗った時に前はどこ望まれるかと聞いていたが、今は済生会に運ばれ、どうすると判断になっている。 ・救急車で済生会という時に、医療センターにと言った時に、救急車が使えない、医療センターにはタクシーでと言われたという話を聞いた。圏域と言う事で対応はどうなのか。 ・資料の中で、8分の3に、「済生会には行きにくい雰囲気にある」というのがある。市民が行きにくいのか、医師不足という中で、済生会に問題が有るのではないかと思うが、医師も行き難い（済生会に勤務したくないという事か）環境が有るのか、患者として行き難いのか、医師にも、済生会には！というのがあるのか、なぜ行きにくい雰囲気が有ると言う事について分からないが、こういうことを思っている市民がいるという事が問題。

要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和7年6月5日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月24日（土） 10時 0分～ 11時 30分
開催場所	浅利地域コミュニティ交流センター
出席議員	森脇、寺前、多田、渡辺
参加市民数	5人
実施内容報告	議会報告
	意見交換 <p>意見交換①（地域医療）</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民として出来ること <ul style="list-style-type: none"> より具体的に内容が出てこないと感じる 健康寿命を延ばす活動を推進する 病院側にして欲しいこと <ul style="list-style-type: none"> 済生会が江津市医療の最後の砦なので頑張って欲しい 済生会自体が、どう変わっていくのか分からないので、助けてほしいことを知らせて欲しい 先生にコミュニティに出てきてもらえると良い その他 <ul style="list-style-type: none"> 会をつくること自体は良いが、本当に済生会が復活できるのか 個人病院と済生会の連携ができているのか 地域医療とは何か 現在、特に病院について不自由していない（開業医に紹介状を出してもらって出雲などに通院しているなど） かかりつけ医が少なくなっていることも問題である 生活や福祉などとも関連付けて考えて欲しい 医療に限らず全てにおいて、行政だけでは難しくなっている、だからと言ってボランティアなどを市民に頼ると負担が一定の方に偏るのではないのか 苦情など <ul style="list-style-type: none"> 病院選択の際に、済生会が選択肢に入っていない 看護師が退職するのは、待遇が悪いのではないのか、医療崩壊ではないのか 高齢者は予約時間に間に合わせるためにタクシーを利用している、年金生活者には負担が大きい <p>意見交換②（その他全般）</p>
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他特記事項	なし

令和7年6月2日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月18日（日）10時00分～11時45分
開催場所	松平地域コミュニティー交流センター
出席議員	森川佳英、鍛冶恵巳子、山根兼三郎、下谷忠広
参加市民数	18人
実施内容報告	議会報告
	意見交換 意見交換①（地域医療） 1. 医療施設の立地とアクセスについて <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中で、病院へのアクセスが重要。 ・高齢者にとって病院が近くにあることが非常に重要であり、徒歩圏内に医療施設があることで安心感が増す ・いざと言う時診てもらえるかどうか不安がある ・個人病院の体制強化が重要ではないか ・かかりつけ病院、薬剤師の充実を図ることが大事と思う ・ワンストップ（総合受付）ダイヤルの活用を広げる ・医療費を削減しないで、予防医療の重視が必要 2. 診療科目の不足について <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科、小児科、外科といった基本的な診療科目が不足していることが懸念される ・診療科目の充実は、今後の地域の発展や住民の生活の安心につながる 3. 医師不足問題への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・地域出身の医師が地元に戻ってくるためには、資金援助だけでなく勤務条件や住環境などの魅力向上が必要 ・子どもの教育環境が整うことも、医師を誘致するうえで、非常に効果的である 4. 地域住民の役割と持続可能な医療体制について <ul style="list-style-type: none"> ・医療体制を維持していくためには、医師や医療関係者だけでなく地域住民全体の理解と協力が欠かせない ・地域住民が主体的に関われる住民団体の設立が望まれる ・協力したいが、何が出来るのか、何が必要なのか、わからない ・市民が一つになっていかななくてはならないにしても、これまでずっと意見を出しているのだから、どうしたらいいのか具体的に決めて欲しい ・医師の歓迎会をやることは賛成 5. 医療機関に対する風評問題の改善について <ul style="list-style-type: none"> ・過去の出来事に起因する医療機関への風評被害を防ぐために、正確で迅速な情報発信が重要である ・地域住民への情報提供の改善が求められる ・各地域コミセンで医療相談会等の実施が必要ではないか ・

		<p>6. 他の地域課題との関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療問題だけでなく、教育や福祉、地域づくりなど他の課題と連動して包括的に取り組む必要がある ・総合的な地域の活性化を目指すべき ・情報提供で、HP や SNS の利用は高齢者には非常に困難 ・かわらばんに、医療情報の専用ページをつくってほしい ・救急車の利用では、患者の既往症などの個人情報の収集が重要であることが利用者により知られていない。このような点の情報提供をきちんとすれば救急対応ももっと効率的になるのでは <p>意見交換②（その他全般）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミセンに隣接する空き家を解体して駐車場を増やしてほしい ・地域の高齢化により、地域の市道の草刈りが非常に困難になってきたので行政で対応を考えて欲しい ・「集落支援員」の呼称になったのはなぜか ・市長に神楽の大会に顔を出して欲しい ・スマホ教室の実施を求める ・現役世代と意見交換する場が必要ではないか
要望・意見等		(意見交換に含む)
その他 特記事項		なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月17日（土）14時00分～15時30分
開催場所	渡津地域コミュニティ交流センター
出席議員	森元 石橋 坂田 植田圭 多田
参加市民数	16名
実施内容報告	議会報告 議会報告（市議会だよりを配布） 地域医療対策特別委員会より
	意見交換 意見交換①（地域医療） ・済生会の状況がわからないことが、市民として地域医療を守るために何ができるのかがわからなくなる原因になる。 ・地元で病院がなくなると困る、ということはみんなが思っていること。 ・現状は病院の状況がわからないから、悪い噂が独り歩きし、病院の評判がさがり、医師看護師が集まらなくなる。 ・良い評判をつくるには、病院の状況がわかること。中の人が見えること。 ・医療関係者が地域の人との交流する機会があると良い。その点開業医は地域の人との交流が多く親しみやすい。 ・医療のことであまり困っていると思わない。かかりつけ医がいるので問題はない。何かあったら掛かりつけ医に頼る。 ・若い人と高齢者のそれぞれ求める医療が違う。若い人は職場等で健康診断を受けているから大丈夫なのでは。 ・救急で制度、体制を見直す必要があるのでは。済生会を経由しない方法 ・往診も含めて訪問診療はできないか。 ・人口減少の根本的な原因を考えないと改善に向かわないのではないか。 ・地域医療に関する情報が少ないので、話し合いも難しい。 意見交換②（その他全般）
	要望・意見等 (意見交換に含む)
その他特記事項	なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月22日15：00～16：30
開催場所	郷田地域コミュニティ交流センター
出席議員	藤間、河野、植田好、坂手、渡辺、寺前、多田、坂田、植田圭
参加市民数	8名
実施内容報告	議会報告
	<p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤字が大きく出ていた。人件費が問題で地域住民が人件費を補うこと考えるのか。 ・江津に医者が少ないでなく、浜田できちんと病院あれば移動の問題で、そこを補填する事を考えてほしい。 ・医者が増えれば必ず活性化になるイメージは持ってない。地域が済生会に通うのが良いのかな、そういうことではないところに問題がある気がする。 ・県は、浜田県圏域の人口比に対して医者数の想定があり、医療センターは多く、江津は少ないが全体的にバランスが取れ、江津の人は浜田医療センターに行けば良く、浜田を充実させ江津は消えても良いとの考えか。 ・赤字補填が問題でなく、ちゃんと医療が受けられることが大事。 ・市民病院の感覚有るので行政が補填する事は不自然なことではない。 ・診療科が無くて歯抜け状態が心細く頼りない、高齢者は浜田まで行くのは大変。 ・小児科ないことが問題。 ・通院手段の確保が大変。 ・医療センターに電話して行ったが、手術中なので待ってくれと、その後診られないので江津で診てもらってと言われた。 ・江津で診てもらうのが第1希望。済生会でまず診てもらう、次に医療センターや出雲というのはあっても、まずは済生会というのが一番だと思う。 ・赤字は、病床数の減少が問題。どこまで改善するか？ ・ベッドが開けないのは看護師数が足りないから、医者も大事だが看護師も大事。 ・離職者が多いのは働き続けられない問題の解決をする、働き続けてもらう改善が必要。病床数を増やす取り組みを…減らす方向になっている事が収入の問題にある。 ・新しい支部長さんに期待する。総合医も来ている、皮膚科に若い医者も来ている。 <p>先生を大事にして、住民が済生会に診てもらおうという気持ち意識づけが大事だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江津市の生まれで、医者や看護師になっている人が、帰らない・帰れない。地元へ帰らない。働きがい、魅力などから帰って働こうかなとならない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・両親・兄弟、地域の人にお世話になり大きくなったのに帰れないのは何なのか。そういう気づきを与える何かがある。何年間か医者・看護師に手紙を出したりアタックしたけど、あまり効果なかった。 ・医師、看護師だけでなく、どういう職業であっても江津に帰ってくる確率が少ない。 <p>小さい時から身に染みて、体に染み込んで江津に帰って何かしたいと言う意識を持つ子を育てる教育が大切だ。→ふるさと教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療を守る会について、医者、看護師、地域の役割、行政の役割など言う機会がない、誰が新任で来たのかも情報ない。そういう組織があれば、新任の歓迎、魚釣り私得意です、そういう情報が入る機会「地域医療を守る会」是非作って頂きたい。 ・江津の域医療を守る市民の会は、20年以上前に市議の方も一緒に考えたことあるが、良い具合に進まなかった。 ・地域住民と何かをする、そのことの積み重ねが心の中にすんと落ちて、暖かいもの感じて働くのもやる気になる、この地に住みたくなる、外に出ていた人が「忘れていた」「江津にはこんないいところがある」と、心の琴線に触れるような計画、取り組みを積み重ねて前進できる。するならポシャらないようにしてほしい。 ・看護師も大切→看護師が働き続けられる環境づくりを ・江津で住み続けられる取り組みが必要。 <p>意見交換②（その他全般）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中で、今の施策をそのまま継続するのか、故郷江津がいつまで維持できるのか。 ・地域が今消えている。こっち(市街地)に集めているように見えるが、病院に来るのに片道でも1万円かかるので、来たときに、あの科もこの科も診てもらおう（診てもらおう科でなくても）、更に買い物して、他の用事もして帰りたい、と言う事をよく聞く。そういう事が気になるが、市の方ではどのように考えているのか。
要望・意見等		(意見交換に含む)
その他特記事項		なし

令和7年6月5日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 21 日（水） 14 時 0 分～ 15 時 30 分
開催場所	嘉久志地域コミュニティ交流センター
出席議員	森脇、寺前、多田、渡辺
参加市民数	5 人
実施内容報告	議会報告
	<p>意見交換</p> <p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去地域医療対策特別委員会があっても動いていなかった。ようやく動いたなといった印象。 ・済生会に総合医が 3 人来たことはすごい成果だ。市長にはもうひと踏ん張り頑張ってもらいたい。 ・かつては良い院長先生や産婦人科・小児科・外科にも良い先生がいて浜田医療センターより患者数が多かった。 ・来られた医師を大事にし、少しでも居心地の良いようにしなければ帰ってしまう。 ・嘉久志ではできなかったが、歓迎会などもやるべき ・地元の開業医の所へ正月に葉ボタンを持っていたりして応援した。微々たることでも大事だ。 ・地域医療を守る市民の会がどうかと言っているが、失敗など考えずにやってみるべき ・済生会は総合病院であることが市民にとって大事なこと。これが崩れている。例えば産婦人科や小児科がないと若い人が帰ることができない。 ・済生会は総合病院である体制を維持すべき。そのために皆で何とかしようと意思統一を行い、具体的な行動することが必要 ・済生会やその周りの病院で若い医師の研修・研鑽ができる体制ができれば若い人も来るのではないか。 ・済生会が医師にとって魅力がないから敬遠されていると思う。島根県や江津市の医療支援部門が魅力を高める活動も専門的な行動が必要であり、死に物狂いで医師の確保に動いてほしい。 ・医師が 10 人になったのは何故かその原因を探してほしい。 ・救急で入っても浜田へ転送される、自家用車で行ってくれなど論外。欠陥だらけではないか。 ・車がないから、自分で健康を維持していかなければならない。病院はちゃんとしてほしい。 ・8 ページにわたる意見を済生会や行政にぶつけても解決は難しいのではないか。例えば医師不足などテーマを特化した 3 つくらいに絞り、何がしたいのか論点を整理したほうが良い。 ・江津駅の 2 番ホームから跨線橋を渡らないと駅の入口に行けないことも済生会を利用しない理由となっているといった問題もある。 ・旧桜江と旧江津、嘉久志とその周辺と困っている問題意識が違う。地域ではある程度自衛している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・患者が悪口を言わないようすべきだ。 ・スクールバスなどを利用し巡回バスを桜江に回し済生会へ連れていくことも考えてみてはどうか。 ・スタッフが不足しているのなら、江津に帰ってくるようなシステム、例えば学生に事前に体験会に参加してもらうことや奨学金など考えてはどうか。 ・失敗しても良いから何か手を打つことを議員で考えられないか。 ・済生会が何をしてくれるかではなく、やれんやれんではなく住民自身が何ができるかを考えるべき。 ・救急はどうしても自分本位になっている <p>意見交換②（その他全般）</p>
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他 特記事項	なし

令和7年6月2日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月24日（土）9時30分～11時15分	
開催場所	和木地区コミュニティ交流センター	
出席議員	森元 石橋 坂田 植田圭 植田好 坂手	
参加市民数	9名	
実施内容報告	議会報告	議会報告（市議会だよりを配布） 地域医療対策特別委員会より
	意見交換	<p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は皆保険なので、どこでも、地方でも医療を受ける権利がある。医師偏在が課題であるので、そこをどうにかしていくべき。 ・人口減少している中で、すべての科がそろっている病院を求めるのは難しい。済生会にどこまでの機能を求めるのかを議会として聞いてもよいのでは。 ・圏域で協力を進めるべき。浜田医療センターに救急で行ったときに、江津の人がなぜ浜田に来たのかと言われたことがある。 ・済生会の問題は、地域医療の問題のすべてではない。かかりつけ医の充実も地域医療を守ることにつながる。 ・情報発信が少ない。済生会にどんな先生がいるかなどの情報をしることができるようにならないといけない。HPに掲載することは大事だが、それ以外の方法も考えていく必要がある。市民も何科の先生がいるのかを知ろうしないといけない。 ・平成24年あたりを境に他の地域の病院の医師数が増えているが江津は増えていない。他の地域が何に取り組んだのかを知らないといけない。 ・医師に選んでもらえる病院、地域にしていけないといけない。 ・看護師不足も考えないといけない。 ・医療センターと済生会が連携する上での課題はなにか。 ・済生会の赤字について、特定の科に特化しなければ黒字にならないのではないか。 ・済生会の医療レベルを信じてよいのだろうか、不安。 ⇒済生会のことを良く知らないことからくる。 ・医師の数も大事だが、信頼できる医師がいることも大事。済生会の医師数も大事だが、開業医の確保も大事。 ・済生会に行ったときに、あまり患者さんがいないように感じた。 ・市民として医療にかからない、健康であることも大事。 ・科が急になくなったら困る。 <p>意見交換②（その他全般）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む中で、議員が政党や特定の意見に偏らないよう超党派で、良い方法を模索して江津市を良い方向に導いてほしい。 ・部活動地域移行については⇒今年度は地域移行担当の主事を配置してさらに進めている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題について、管理不全空き家の対応はどうなっているのか。 ・県外で起きた学校での雷の事故について、江津市ではどのようなようになっているか。
要望・意見等	(意見交換に含む)	
その他 特記事項	なし	

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 1 9 日 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
開催場所	都野津地域コミュニティ交流センター
出席議員	藤間、河野、植田好、坂手、植田圭、森川、植田圭、坂田、森元、渡辺、寺前
参加市民数	8 名
議会報告	
実施 内容 報告	<p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医者 の 質 や 機 材 の 質 の 充 実 を し て ほ し い ・ 江 津 は 十 分 な 教 育 環 境 が 無 い の で 済 生 会 に 行 き た く な い と い う 事 も 聞 く （ 家 族 で 子 育 て 世 代 ） ・ 専 門 医 、 良 い 医 者 に 診 て も ら い た い ・ 浜 田 と の 連 携 を 強 化 し て 、 簡 単 （ 医 療 セ ン タ ー ） に 行 け る 体 制 に し て 欲 し い ・ オ ン ラ イ ン 診 療 も 言 わ れ た が 、 コ ミ セ ン 等 に 設 け る な ど 有 れ ば い い ・ 医 師 が 来 な い の は ど こ も 同 じ 。 医 大 か ら の 派 遣 も 指 示 で な く 自 由 に な り 、 ス キ ル を 高 め る に は 都 心 部 に 集 中 す る 。 医 師 確 保 に 医 大 と 行 政 の 連 携 を し っ か り し て ほ し い 。 更 に 、 知 事 や 市 長 が 動 く こ と だ 。 ・ 看 護 師 不 足 も 問 題 。 労 働 条 件 な ど 処 遇 の 問 題 が 有 る の で は な い か 。 ・ 看 護 師 確 保 で 、 結 婚 ・ 出 産 で 離 れ た 人 の 復 帰 を 促 す 取 り 組 み が 大 切 。 潜 在 的 な 看 護 師 は お ら れ る 。 ・ 整 形 外 科 の 先 生 の 評 判 は 良 い と 聞 く 。 他 市 か ら も 患 者 が 多 く 混 ん で い る と 聞 く 。 ・ 外 科 の 先 生 は 呼 べ な い の か ・ 若 い 先 生 が 、 親 切 に 診 て く れ た 。 翌 日 電 話 し て き て 、 「 そ の 後 ど う で す か 」 と 聞 い て 来 ら れ た 。 ・ 診 療 費 が 2 0 円 多 く 取 っ て い た か ら 、 取 り に 来 て く れ と 言 わ れ た が 、 バ ス 代 を 使 っ て ま で い け な い の で 、 取 り に 行 か な か っ た 。 ・ 会 計 時 に 名 前 呼 ば れ る が 、 耳 も 悪 く 聞 こ え な い 時 有 る 。 番 号 表 示 に 代 え ら れ な い か 。 ・ 毎 月 の 保 険 証 の 確 認 は 面 倒 だ が 、 改 善 で き な い か 。 （ 参 加 者 か ら 、 マ イ ナ ン バ ー 保 険 証 は 、 毎 回 提 示 し 確 認 さ れ る そ れ も 面 倒 、 パ ス ワ ー ド 忘 れ た ら 困 る の で コ ピ ー し て 持 っ て 行 っ て い る ） ・ 入 院 受 け 入 れ で 、 看 護 師 い な い か ら 受 け 入 れ ら れ な い と い う 事 が あ っ て が 、 ど う な っ て い る の か 。 ・ 手 術 後 に 済 生 会 で の 対 応 で き な い の で 、 医 大 に 通 院 し て い る が 、 JR を 利 用 。 交 通 費 が 大 変 。 ・ 高 齢 で 済 生 会 に 行 く こ と も 大 変 な の で 、 近 く の 開 業 医 で 満 足 し て い る 。 先 生 を 信 じ る こ と も 大 切 。 ・ 開 業 医 に 通 う が 、 薬 だ け も ら う の で も 1 時 間 以 上 待 た さ れ る 。 何 と か な ら な い か 。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 済生会がかかりつけ医にならないか。 ・ 若い医者呼び込むため、子供の教育環境を良くし、子育てしやすい環境を。 <p>意見交換②（その他全般）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者福祉について、市民センターで障がい者フェスタがあり、市役所ブースは資料が置かれてあるだけで、誰もいなかった。障がい者福祉に対して重要視していないのかと感じた。 ・ 障がい者へのアンケートがあったが、その後の取り扱いの広報をしてほしい。 <p>※「令和6年度から6年間の第4次江津市保健福祉総合計画の策定に当たって、アンケートで課題を抽出し計画に反映」との趣旨を説明済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車の免許を返納すると、移動手段に限られる。介護の仕事をしたいと思うが、介護送迎の車に同乗して介護現場での仕事に就くとかは出来ないか。
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和7年6月5日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月17日（土） 14時00分～15時45分
開催場所	二宮地域コミュニティ交流センター
出席議員	森川佳英、鍛冶恵巳子、山根兼三郎、下谷忠広、寺前克宏、渡辺信明
参加市民数	8人
実施内容報告	議会報告
	<p>意見交換</p> <p>意見交換①（地域医療）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療へのアクセスの重要性 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、医療機関へのアクセスが日常生活の重要な判断要素となっている ・特に徒歩圏内に病院や生活施設がある地域は、安心して老後を送れる場所として認識されている ・自動車や自転車が利用できなくなる将来を見据え、医療機関に近い地域への転居を実際に実行する住民もいる 2. 地域医療の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・小児科、産婦人科、整形外科など重要な診療科の不備や医師不足に対する懸念が大きい ・医師や看護師の地域定着が困難である背景に、魅力的な職場環境や住環境の不足が挙げられた ・医師への金銭インセンティブだけでなく、家族を含めた生活環境の充実が必要 ・医療機関と情報共有が不十分であるとの指摘があり、特に医療関係者間の連携強化が求められている 3. 医療提供体制の整備と人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地元出身医師の育成や地域医療に定着する仕組みづくりが急務 ・医療連携推進法人江津メディカルネットワークの役割を強化し、情報共有や連携の充実を図る必要がある ・心不全地域連携パスなど、地域全体で患者をサポートする体制づくりの理解促進が必要 ・予防医学の推進も大切ではないか 4. 市民・行政・医療関係者間の対話と協働の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・住民が地域医療の実情を理解し、自ら行動するための情報提供と対話の場が必要 ・行政と市民団体が協力して地域医療を推進する体制の整備が必要 ・医療問題を議論するための場を市として設けることが求められる ・手術を伴う疾病は医療センターへ、慢性期の疾病は済生会へと情報を流して欲しい ・他市町に「地域医療を守る市民の会」があるなら、江津市でもつくるべき 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、休日どこまで診てもらえるのか不安。何科なら診てもらえ

	<p>るのかよくわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急は医療センターを望む ・医大からの先生に診てもらっているが、救急でアドバイスが欲しい時に困る ・総合診療医が3人も増えたので、これからは診てもらえるだろう ・自分で出来る事を探して講習を受けた。浜田市では AED 設置マップが整備されている。江津市でも整備して欲しい ・熱中症対策、AED 救急法などを婦人会の講習で受けた ・資料でのアンケートは何%の人の意見なのだろうか ・済生会合津総合病院の HP の更新を随時行って欲しい ・24時間ダイヤルの活用で、病気や薬の不安が解消されることもある ・住民アンケートを行い、みんなの声を集めてはどうか ・必要な診療科の医師が確保できないなら、江津市がお金を出してでも育てる制度をつくるべきです ・智翠館や浜田高校の理数科を充実させ、地元出身の医師を育ててはどうか <p>意見交換②（その他全般）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業道路の路面の痛みがひどいので直してほしい ・ひきこもり対策をどう考えているか ・熱中症対策が必要ではないかと思う
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月13日（火） 19時 0分～ 20時 30分
開催場所	跡市地域コミュニティ交流センター
出席議員	森脇、寺前、多田、渡辺
参加市民数	19名
実施内容報告	議会報告
	意見交換 <p>意見交換①（地域医療）</p> <p>1. 市民として出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状が分からないので、シンポジウムや勉強会への参加（ただし、参加者が集まるように地域の祭りなどにくっつけて開催、またテーマを絞るなど工夫する必要あり） ・応援のために済生会や地域の病院に行っている、他に応援できることを知りたい ・歓迎会は良いのではないか ・相互にざっくばらんに話せる場があると良い ・コンビニ受診はやめるべきだ ・住民では何もできないと思ったが、住民とお医者さんをつなぐ組織が必要 ・医療にかかる必要性がなければ、地域医療に関心は持たない ・病気の人だけでなく元気な人も含め、住民と病院・医師・看護師との接点をつくる必要性がある ・予防の取り組みが重要。←健康への関心はある <p>2. 病院側にして欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団検診に血液検査が入ると良い、そういったことを話し合えるような場があると良い ・先生の話（専門的な話や世間話など）が聞ける場があると良い ・病気になる前の指導が大事なので、敬老会で血圧を測るなど ・済生会のPR誌が欲しい、行政もふくめて情報発信へも注力して、最新の情報が欲しい ・市役所などに、地域の先生に来てもらってテーマを決めて話をして欲しい ・済生会だけ医師が少ないのはなぜか ・ドクターカーを配備してほしい <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なイメージがあった方が良いので、周辺自治体の例がもっと欲しい ・一人一人の健康管理が大事ということを、皆さんで共有する場があると良い ・旗振り役が大事で、誰がどのようにするか具体的に ・ダメだった時の対応も検討すべき（医療のDX化など） ・西ノ島町は離島医療で有名なため先生が来ているので、江津医療の特徴を特化してはどうか ・先生が地域を選択する基準を知りたい

		<ul style="list-style-type: none"> ・市内の個人病院の情報が欲しい ・若い人は、子育てを考えると家も建てない。(定住しない) ・母が済生会に入院したが、看護師さんは、明るく、優しく、話しやすく、丁寧ですごくよかったと思う。 ・地域のかかりつけ医を増やす必要がある ・若い医師が帰ってきやすい環境づくりが大切 ・市議の皆さんは済生会にかかっていますか？ ・島根県全体としては医師が増加しているのは知らなかった ・看護師の増減の状況も知りたい ・現状、地域医療や病院のことを「知らない」が、検診などで実際に病院へ行ってみることで知ることができる ・済生会だけでなく開業医の後継者確保にも取り組んでほしい ・医療にアクセスする上で、移動手段の確保が必要 <p>4. 苦情など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約をしても、済生会の待ち時間が長い ・済生会の医療がダメというレッテルがあり、初めから選択肢から外れる ・指導医がいないので研修医が来ないなら、地元ではどうしようもないのでは ・里帰り出産ができない。子供だけで産むのは親も不安。 <p>・済生会はスムーズな対応をしておらず選択肢に上がらない。医大は予約していけるし、安心できる。近いところに安心できる病院があるのがよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院に行くための手段がない。地域交通を充実して、病院の帰りに買い物もできるようになればいい。 ・江津市の地域医療を守る市民の会は医師がいらないのに意味があるのか ・ドクターヘリでは足りない部分もある。救急への不安がある <p>意見交換②（その他全般） （意見交換に含む）</p>
要望・意見等		
その他 特記事項		なし

令和7年6月2日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月18日10:00～11:30	
開催場所	敬川地域コミュニティ交流センター	
出席議員	藤間、河野、植田好、坂手	
参加市民数	4名	
実施内容報告	議会報告	
	意見交換	<p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町より医師が少ない要因は、処遇の問題か、何か問題があるが要因は何か。 ・済生会に救急車で、医師がいないからと翌日医療センターに転送。初めから医療センターにならないのか。昼間は良いが、夜間だと心配だ。 ・救急車で「済生会ですか？医療センターですか？」と聞かれ、一旦済生会にと言ったが、病気に対する専門医がいない、翌日また救急車で医療センター行った。 ・医師不足や医師の偏在の原因（制度的な問題）はなにか、根本を解き明かさないと解決に向かわないのではないか。 ・学生の立場だと、済生会とか大きい病院より、簡単に行きやすい、かかりつけの個人病院に関心があり使う機会が多く、そっちを調べるが、数としては少ないと感じる。 ・脳梗塞の方が、ドクターヘリが青陵中学校の校庭に待機し、救急車が来てすぐ搬送、2週間で退院された。119番した時点の判断が大切。 ・病院に通うのに交通手段の確保が心配。 <p>意見交換②（その他全般）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部統合小学校について、西部統合小学校は進んでますが、コロナが起き、今日の物価上昇で建築費も大幅に上がっている、今一度立ち止まって建設がいいものかどうか。→江津高校の利用は。人口減少で、高校の統合で活用含め検討できないか。旧市民会館、旧庁舎、後始末のきっちりして進んでほしい。 ・リバーサイドの道路建設がもう中止になった。土地利用、宅地造成など有効活用の検討を。 ・市営住宅の建て替え、42世帯で建て替えは疑問。人口減少の中で必要なのか。 <p>道路も狭く、工事車両の侵入路踏まえた場合、あの場所で本当市営住宅が良いのか疑問。</p>
	要望・意見等	(意見交換に含む)
その他特記事項	なし	

令和7年6月5日
江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月31日（土）10時30分～12時00分
開催場所	波子地域コミュニティ交流センター
出席議員	森元 石橋 坂田 植田圭 森川 下谷 渡辺
参加市民数	13名
実施内容報告	議会報告 議会報告 地域医療対策特別委員会より
	意見交換 意見交換①（地域医療） ・ 済生会が維持できるか心配。赤字が多かったが。 ・ 救急で運ばれても、症状に対して、処置する科が無ければ対応できないのではないか。 ・ 救急で見てもらった先生の患者への対応が残念だった。もう少し優しくできないか。 ・ 病院側にも変わってほしい。病院の対応に不満がある。 ・ 病院を良くするには声を上げることが大事。 ・ 市から支援するなら、単なる赤字補填ではなく前向きな取り組み、何かに特化した取り組みに支援をすべき。 ・ 市民の会が出来たら、入院しておられる患者さんの声も聞くことができるようにしたら良いのでは。 ・ 信用される病院になってほしい。 ・ 波子地域には病院の先生がいない。往診や訪問診療があると良い。 ・ 公共交通の問題もあり、通院が困難。 ・ どの地域でも医療にかかることができる体制づくり。オンライン診療など。 ・ 病院にかからなくてもよくする。健康に気を遣う。 ・ 地域の人が行きやすい済生会になってほしい。 ・ どうしたら医師に残ってもらえるか。医師にもメリットがないと無理。そこを考えることが一番なのでは。 ・ 医師数が倍増しているのに、済生会だけなぜ減っているのか。 ・ 近隣各地域の中核病院5つの病院で連携したらよい。 ・ Uターンで帰って来た時、済生会の評判が悪く、浜田医セを紹介された。 ・ 済生会の組織運営がだめだと思う。 ・ 島根県西部に異動辞令が出ると、やめる人が多いと聞く。周辺県境や文化、高品質のものをそろえる。 ・ 長寿命なのに医療は遅れている？ ・ 自分の健康は自分で守る。 ・ 都会の専門病院、有名病院でも統合している。日本の政治がだめ。医療費を抑えて軍事費を上げるようなことでは先が見えている。政治崩壊している。 ・ 後期高齢者の脳ドック助成がなくなった。75歳以上の人こそ守ってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・島根は長寿県。自分で自分の身を守るしかないから、頑張っている結果。 ・このような意見交換の場が必要なので続けてほしい。 ・ベッド数をこれ以上減らさないように。 ・済生会に入院したとき、今後どうするのかの説明がなかった。 ・救急で運ばれて、4時間大部屋に放置された。 ・救急の場合は自家用車で医療センターに行った方が良い。 ・看護師の定着が全体的に悪い。定着率を上げる工夫が必要。 <p>意見交換②（その他全般） なし</p>
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月18日（日）13時30分～15時00分	
開催場所	有福温泉地域コミュニティ交流センター	
出席議員	森川佳英、山根兼三郎、鍛治恵巳子、坂田優美、多田伸治、植田圭介 寺前克宏、植田好雄、渡辺信明	
参加市民数	3人	
実施内容報告	議会報告	
	意見交換	意見交換①（地域医療） 1. 対話の場づくり ・病院と行政が市民のニーズを考えて、マッチングすることが必要と思う。 2. 情報の見える化 ・済生会江津総合病院の医療データ（まめネット、電子カルテ）の活用で、病院をもっと使いやすいものにしてほしい。 ・もっと済生会江津総合病院の情報公開を進めてほしい。 ・好事例を発信（SNS）することが大事ではないか。 3. 予防医療・対策の推進 ・100歳体操などの、健康診断データをもっと有効活用するべきではないか。 ・減塩教室のデータを活用して、心不全予防につなげてほしい。 ・人間ドッグの活用を広げる為に、支援制度創設し利用率のアップをしてほしい。 4. 医師定着の支援 5. 救急医療体制と医師不足の共有 ・大学病院から医師が来てくれることは、良い事と思う。 ・かかりつけの病院があるのに、救急車を呼ぶと他の病院へ回される、最初から選ぶことできないのか。 6. 住民側から出た主な提案 ・内部情報の共有で住民負担の軽減をしてほしい。 意見交換②（その他全般） 1. 空き農地の活用をもっと進めてほしい。（地域資源を生かす）
	要望・意見等	（意見交換に含む）
	その他特記事項	なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 20 日（火）18 時 30 分～ 20 時 0 分
開催場所	長谷地域コミュニティ交流センター
出席議員	森脇、寺前、多田、渡辺
参加市民数	11 人
実施内容報告	議会報告
	<p>意見交換</p> <p>意見交換①（地域医療）</p> <p>A 班</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 済生会の医師数はわかるが、開業医は何件あるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科等含めて 23 件ある。 2. 人口が減少しているのだから、医師数は足りているのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療科が専門化しているので足りていない。 ・ 今年から、総合診療科ができたので広く診察ができる。 3. 地域医療というが、済生会の話だけをするのか、開業医も含めて話をするのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開業医の跡継ぎに帰ってもらうにも、済生会を中核として成り立つ必要がある。 ・ 帰ってくる医師に安心感を持ってもらうためにも済生会が必要。 4. どうして医師の数が少ないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修医制度があり、済生会には研修医がいないため。 ・ 旭の診療所には、研修医が来て診察している。 ・ 医療圏域のことや研修医のことは住民には何もできない。 5. 市民の会の役割は。賛否があるのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 江津市で医療をしていきたいと思ってもらえるよう、市民の会は必要。 ・ 議員は医師の歓迎会に出ているのか。市民もだが、まず議員からすればよい。 <p>B 班</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民として出来ること <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生と交流は可能 ・ 気持ちよく働ける環境整備 ・ 小さいグループに来てもらって、先生の話聞いてみたい 2. 病院側にして欲しいこと <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師の待遇を知りたい 3. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 江津に先生が集まらない理由など根本的な原因を考えるべき ・ 経営体制に問題があるのではないか ・ 救急搬送された時に、移動される割合はどのくらいか ・ 予防も大事だし、病院へのアクセスも大事

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療のエリアを広く考えるべき（浜田市、川本町、邑南町など） ・他の地域では会をすることはできるが、江津では難しいのではないか <p>4. 苦情など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージが良くない（昔のイメージかもしれないが） ・人気のある先生が独立してしまう ・済生会に行くことが大変 <p>意見交換②（その他全般）</p>
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他 特記事項	なし

令和7年6月2日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月23日（金） 10時 0分～ 11時 30分
開催場所	市山地域コミュニティ交流センター
出席議員	森脇、寺前、多田、渡辺
参加市民数	7人
実施内容報告	議会報告
	<p>意見交換</p> <p>意見交換①（地域医療） A班</p> <p>1. 市民として出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 済生会のボランティアはOB・OGのみで市民は断っているようだが、いきさつを調べて市民にも参加してもらっては ・ 風評問題の対応として、市民の考え方を变える必要があり、そのために先生と話をすることは良い、また、議会だよりを使ってはどうか ・ 市民と先生の設定をつくってはどうか（サロンなどを活用してはどうか） <p>2. 病院側にして欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急体制などを知ってもらい、悪いイメージを払しょくする必要がある ・ 済生会祭りをもっと活用してはどうか ・ 病院広報をもっと充実して欲しい（HPは充実している） ・ 専門医で目玉となるものを創って魅力を向上しては <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療は大事で、高齢化のため介護がくっついているので、介護も含めて欲しい ・ 骨折後に急速に認知が進み、施設を探したが要支援2のため困難で、病院と介護施設で融通や共有できることがあれば良い ・ 浜田医療センター（元国立病院）や大田市立病院（市立病院）などとは、異なるため医師数だけで比べるべきではない ・ 過去に小児科医がいなくなるときに「会」を立ち上げたことがあるが続けられなかった理由は何か ・ これまでの歴史も知っておいた方が良い <p>4. 苦情など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 済生会だけ医師や看護師が減少している理由を知りたい ・ 済生会がどうしようもなくなってからでは遅い ・ 市民の声を取り入れていない ・ 予約を取るために診察を受ける必要がある（電話予約ができない） ・ インターネットなどで予約確認できれば良い

	<p>B班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医者が減っていないことにびっくりした。済生会を充実してほしい。マイカーを持たなくなるので、交通手段をどうにかしてほしい。 ・応儀先生は高齢ではあるが、いなくなったら大変。邑智病院も近いが冬場が大変。やはり済生会を何とかしてほしい。 ・済生会の看護師が辞めるのは待遇面か ・自分自身は病院を利用していないのでよくわからないが、10年位前に子供が交通事故にあって済生会に受け入れてもらえなかった。何のためにあるのかと思った。しかたなく邑智病院へ連れていったが、そのことがショックだった。 ・議会は危機感をもっていなかったのか ・益田の日赤や大田市民病院の医師数が増えている理由が知りたい ・江津市でできないのはなぜか？ ・済生会にどういう風になってほしいか具体的に示してほしい ・整肢学園のことが分からない ・今いる医者はどうやって居てもらうか。感謝の気持ちを伝えることは良いこと ・歓迎会もやるべき ・確かな情報がほしい ・三江線がなくなって済生会に行くことがなくなった。通院を買い物支援とタイアップできないか <p>意見交換②（その他全般）</p>
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他 特記事項	なし

令和7年6月2日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月17日（土）10時00分～11時30分
開催場所	川戸地域コミュニティ交流センター
出席議員	森元 石橋 坂田 植田圭 森川 山根 多田 植田好 下谷 寺前 渡辺
参加市民数	5名
実施内容報告	議会報告 議会報告（市議会だよりを配布） 地域医療対策特別委員会より
	意見交換 意見交換①（地域医療） ・医師不足という認識だったが、近隣を含め県西部は医師不足ではないということに驚いた。 ・通院に関わる交通について不便だと感じる。 ・地域にある個人病院を大事にしていけないといけない。 ・地元の個人病院に後継ぎがない。このことについてどうするか。住民としてできることは何か。 ・済生会を盛り上げていきたいが、市民全体で盛り上げる雰囲気にならないように思う。 ・看護師不足も課題 ・済生会の情報、例えば何科の先生がいて、近隣病院を含めどこにどんな医師がいるのかがわからない。 ・市民が地域医療を守るためにかかわっていくことは分かったが、何をしたら良いかがわからない。 ・人口減少が地域医療に与える影響が大きいので、若者が町に増えると良い。 ・地域医療がなくなると困るのは私たち市民。様々な課題があると思うが。 ・特定検診などを受けて、自分自身が健康でいることも大事。 ・多くの市民がもっと関心を持たないといけないと思った。 ・いざというときに、頼れる病院にするため、広域で連携してほしい。 ・市の補助を使って医療系に進む制度があると思うが、実績等を知りたい。 意見交換②（その他全般）
要望・意見等	（意見交換に含む）
その他特記事項	なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月21日18：30～20：00
開催場所	谷住郷地域コミュニティ交流センター
出席議員	藤間、河野、植田好、坂手、森川、植田圭、坂田、渡辺、下谷
参加市民数	11名
議会報告	
実施内容報告	<p>意見交換</p> <p>意見交換①（地域医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良い噂を聞かない。救急車で搬送された90代、入院したいと言ったが、大丈夫と帰され、翌日に川本の病院に行かれた。 ・70代、「ろれつ」回らくなり検査受けたが、大丈夫と帰され、医療センターに行き、即入院。診立ての質を上げて、対応できない時は紹介状を書くなどしてほしい。帰った後に調子悪くなるようだと信頼がなくなる。 ・退職される方が多いと聞く、何が原因か。給与・福利厚生・職場環境か心配。済生会で勤めたいという環境を整えてほしい。 ・非常勤医は、担当医が変わるたびに説明する。治療に専念できないので、違う病院を探す。 ・島大医学部の「地域医療考える会」に参加した。地域医療に興味ないという理由が、いろいろな疾患が診られない、医師になるいろいろな勉強したが、済生会は限られ、医療センターは研修体制が整っている。 ・看護学生で、済生会は入院を全員みきれず、医療センターで済生会待ちが10人ぐらい、医療センターにとっても負担、改善を。 ・地域の個人病院との連携を取ってほしい。応儀先生から、済生会で診てもらう時に往復タクシー使えば1万円かかり負担だ。応儀先生の高齢化が心配。 ・済生会への交通手段。車ない人はタクシーか知人に頼む。近所の方に再々は頼めない。70代、80代は結束力あるが、その下の年代は言えるかなという面ある。 ・民生委員、1人の人連れて行くと、他の人も同じ事例は連れて行く事になり、簡単に手を差し伸べられない。本当に救急で困っている時だけ車（自分の）を出す。それ以外は個人的に出すことしない。万が一事故した時に保証できない。 ・一週間に1回なら予約入れてバスで行ける。そうでなければタクシーか知人に。 ・バスの時間や通える曜日に合わせて融通して予約を入れてくれる。急な時が問題。 ・船津医院が週1回。川戸に歩いて行けるので助かる。 ・高度医療が無いので若い看護師にとって魅力がない。 ・医療センターや大田から先生が来られるが、時間を割り振って済生会に来てもらう体制を作ってはどうか。 ・75歳以上の人間ドック復活してほしい。 ・済生会にも優しく良い先生はおられる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療医が必要。 ・済生会に救急で行ったけど入院させてもらえなかった ・非常勤の先生が変わられると都度説明をする。今後もそれが続くのかな ・看護師不足の中で負担が増えて、辞められるとかもあり悪循環になり心配 ・お医者さんも少なく、一人の負担が大きくなり、こうした事も医師不足になっているのか ・済生会に交通の負担。桜江から往復すると1万円ぐらいタクシー。負担が少なくなるようになれば良いな ・バスの時間に合わせて予約を融通してもらえる。事務的な話ばかりでなく、お互いに歩み寄りながらやって行けば良い関係になる。
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和7年6月5日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年5月11日（日） 10時 00分～ 12 時00 分
開催場所	川越地域コミュニティ交流センター
出席議員	森川佳英、山根兼三郎、下谷忠広、渡辺信明、多田伸治、坂田優美 植田圭介
参加市民数	17人
実施 内容 報告	議会報告
	<p>意見交換</p> <p>意見交換①（地域医療）</p> <p>1. 救急医療体制の遅れと医師不足の共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科、外科、脳外科、耳鼻咽喉など専門医の強化をお願いしたい。 ・救急受け入れや病床機能再編がほとんど進んでいない。 ・済生会江津総合病院で医師不在や診療制限で、救急車が浜田医療センターへの転送が増加している。 ・以前は医療体制（済生会）が充実していたが現在は充実していない。 ・ろれつが回っていない患者さんが済生会江津総合病院に行ったら異常なしで帰され、のちに浜田医療センターで脳梗塞と診断された。 ・邑南町や広島ของ病院が良いという話を聞く。 ・診察しやすい病院は、医師が当たり前在籍している、専門医もいる、済生会江津総合病院はそうっていない。 ・川越診療所を上手に利用できないか。 ・済生会江津総合病院の初診受付方法が年配者には難しい何とかしてほしい。 ・江津市の将来の為にも、産婦人科と小児科は絶対に必要です。 ・済生会江津総合病院での完結を望みます。 ・看護師不足の対策が必要です。 ・浜田市は医師が増えて江津市は減少、分析が必要ではないか。 ・住民は「どこに行けば診てもらえるのか」「病院は何に困っているのか」が見えず不安が拡大している。 ・脳梗塞など緊急時に「まず受入可能可否の確認から転送」の二重搬送が起こり、30分以上のロスするケースがある。 <p>2. 対話の場づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歓迎会（市内4カ所）への参加は可能、送迎車もお願いしたい。 ・各地域コミセンでの医師・看護師との懇談会の実施をお願いしたい。 ・趣味や子供を入り口に広めてはどうか。 ・桜江いきいき祭り、江津祭りにブース展示等で参加してもらおう。 ・医者、看護師さんと話す会への参加。 ・コミセンのイベントに来てもらう。 ・医療従事者と住民が、病院外で交流する機会がなく、お互いの状況や思いが伝わりにくい。 ・交流、協議の常設化、医師、看護師と住民団体、行政が顔を合わせるシンポジウムや協議会を定例化する。

		<p>3. 情報の見える化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「済生会病院だより」、(虹) を各コミセンに置いてほしい。 ・新しい医師が来てくれた時に紹介してほしい。(ケーブルテレビ、イベントでの紹介、かわらばん、市議会だより) ・済生会江津総合病院や行政が努力していることが (SNS) 等で発信されているが知られていない。 ・情報公開と相談窓口:病院の課題や市の支援策を分かりやすく示し、苦情や要望を受け止める窓口を一本化が必要。 ・ <p>4. 予防医療・対策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気などの疾病学習会の実施をお願いしたい。 ・検診受診向上の取り組み強化 (地区単位での送迎やグループ受診) などの仕組みづくり。 ・ <p>5. 医師定着への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の大儀病院の将来心配 (高齢化・後継者など) 何とかならないか、財政的な支援も必要ではないか。 ・地域枠で医大に進学された方のうち、何人地元に戻っているのか知りたい。 ・まずは、PR、次に交流、最後に定着ではないか。 ・空き医師住宅や地域資源を活かして、医師や家族が暮らしやすい環境づくりを住民も後押しをする。 ・ <p>6. 住民から出た主な提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議会報告会などに医師・看護師の参加を要請してはどうか。 ・コミセンでゲーム (e-スポーツ) をして、リハビリの先生に来てもらう案はどうか。 ・地域包括ケアの強化と医療、介護をセットで考え、訪問診療やコミュニティナースの活用を拡充してほしい。 ・「住民の会」の発足をしたらどうか。 <p>意見交換② (その他全般)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光資源の活用をお願いしたい。 2. 買い物代行サービスをお願いしたい。 3. 国道バイパスや防災堤防整備が遅れている、対応をお願いしたい。 4. サル、イノシシ被害への地域対応も継続してほしい。
要望・意見等		(意見交換を含む)
その他 特記事項		なし

令和7年5月27日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二